

OKINAWA GENERAL CONSTRUCTORS ASSOCIATION

# 沖建協会報



令和7年

No.667

12  
月号

## 今月号の主な内容

- ◆ 第5回役員会
- ◆ おきなわ建設フェスタ開催
- ◆ 下地米蔵前会長が叙勲受章



## 目次

### <NEWS>

第5回役員会	1
下地米蔵前会長が叙勲受章	2
沖総局逢坂次長が就任あいさつで来協	2
第7回おきなわ建設フェスタ開催	3
建設雇用改善事業推進会議	4
第2回工事統括責任者会議	4
県総合防災訓練に沖建協本部・支部が参加	5
公共工事設計労務単価調査説明会	5
美来工科高校のデュアルシステム現場実習	6
名護商工高校が現場見学	6
浦添工業高校インテリア科が現場見学	7
高校生の2級建築施工管理試験対策	8
支部活動報告	8
那覇支部 石嶺児童園の児童らを現場・フェスタに案内	
那覇支部 県警から防犯功労団体受賞	
那覇支部 福岡県や長崎県など視察研修	
南部支部 工事現場2カ所をパトロール	
中部支部 パトロールで11現場を巡回	
浦添・西原支部 女性職員が親睦ボウリング	
八重山分会 石垣島まつりパレードに参加	
八重山支部 献血に協力	

### <PHOTO TOPICS>

令和7(2025)年を振り返る	12
-----------------	----

### <建設雇用改善推進コーナー>

Message～後輩たちへ	14
---------------	----

### <事務局から>

協会の動き	16
今後の日程	16

### <会員の異動>

	17
--	----

### <お知らせ>

西日本建設業保証からのお知らせ	18
-----------------	----

### 〈表紙写真〉

#### 【青年部会第16回フォトコンテスト ～島の魅力～優秀作品より】

#### 〔造の部 入賞〕

題 名: さあ～、仕事の始まりだ!

撮 影 者: 伊良波 長一郎

撮影場所: 石垣港 (石垣市)

# 役員会で九建協地域・定例懇談会などを報告

制度改善を求める提言を全建へ



津波会長から報告を受ける役員ら

令和7年度第5回役員会が11月4日、浦添市の建労センターで開かれた。議事に先立ち、津波達也会長が10月22日に開催された九州建設業協会定例懇談会の内容について報告。「夏場の猛暑対策に対する歩掛りや公契連モデルにおける最低制限価格の見直しと係数改正を求める意見があったほか、小規模工事の標準歩掛りが現状と乖離しているなどの指摘もあった」などと紹介した。また、「定例懇談会での意見は全国建設業協会に提出され、制度の改善に向けて取り組みが進められる」と説明し、「今後も地域の実情を踏まえた意見を発信し、課題解決につなげていきたい」と強調した。

議事では、障がい者雇用促進について要請があったことを報告。要請の際には、会員企業に対して行った障がい者雇用に関するアンケートの調査結果を報告した。また、10月19日に実施された沖縄県総合防災訓練（道路啓開訓練）当日の訓練内容を報告。訓練では、大規模地震を想定した道路啓開訓練として、地震により発生した土砂崩れや瓦礫の除去・救助・救出活動の訓練を実施。このほか、沖建協独自の訓練として、各支部に配置したガスボンベ発電機とスターリンク（衛生通信システム）

を用いて会員企業にメール送信する一連の工程も確認したと報告した。これに関連し、11月13日～18日に開催する地域統括リーダー・防災リーダー研修への参加も呼び掛けた。

青年部会の古波蔵太志部会長からは、恒例の献血活動を12月2日に那覇市の天久りうぼう楽市、翌3日にはうるま市のイオン具志川ショッピングセンターで実施すると報告があった。また、女性部会の糸数幸恵部会長は、11月20日に建労センターで開催する女性限定のAIに関する研修会と講演会について、会員企業の女性社員への参加を呼び掛けた。

最後に令和7年秋の叙勲で、顧問の下地米蔵前会長が協会推薦により旭日小綬章を受章したことが報告された。また、12月10日に沖縄ハーバービューホテルで功績を称える祝賀会を開催するとして会員への参加を呼び掛けた。

結びに新里英正副会長は、「九建協の地域・定例懇談会では、九州においても亜熱帯補正について意見が出され、地域の実情を反映させる議論にも注視しながら活動を行っていきたい」と挨拶し、役員会を閉じた。



## 下地米蔵前会長が旭日小綬章を受章

沖建協の顧問で前会長の下地米蔵氏が、2025年秋の叙勲で旭日小綬章(建設業振興功労)を受章した。下地氏は現在、大米グループの会長を務めている。受章の報告を受けて「驚きと喜びが交錯している」と心情を語った。

下地氏は㈱大米建設の社長として社業発展に尽力し、2012年には沖建協会長に就任。4期8年にわたり協会運営に携わった。また、九州建設業協会会長や全国建設業協会理事、全国建設産業団体連合会副会長など、多くの要職を歴任し、建設産業の発展に貢献した。

沖建協会長在任中には協会、建災防沖縄県支部、建設業厚生年金基金の3組織の連携を図り、役員会を各地区で開催するなど支部間強化にも取り組んだ。那覇空港滑走路増設事業に伴う県内企業の受注機会確保の拡大を求めた要請活動では、入札参加要件の緩和と出資比率引き上げを実現するなど、数多くの成果を残した。下地氏は「協会会長は中途半端ではできない役割。会長の仕事に専念するため、まず社長の役割を後継に託し



勲章伝達式に出席した下地氏

た。大変な仕事だったが、会社と協会の皆さんが支えてくれた。本当に感謝している」と振り返る。

現在は会社経営の最前線からは距離を置き、グループ会長として全体を見守る立場にある。「社員たちを信じて陰から支えていきたい」と目を細めた。下地米蔵氏は1954年生まれ。宮古島市出身。

## 沖総局開発建設担当の逢坂次長が来協

11月5日、沖縄総合事務局開発建設担当の逢坂謙志次長が就任のあいさつに訪れ、津波達也会長と仲本豊副会長が沖建協本部で面談した。

津波会長は、県内で不調・不落が増加している状況や、採算確保が難しい受注環境など、地域建設業を取り巻く制度的課題や現場の声を説明。「実態に合わない環境が続けば、企業は受注をためらい、地域の建設業の持続が困難になる。適正な予定価格設定や見積活用方式の検討を進めてほしい」と要望した。

これに対し逢坂次長は、「沖縄の実情を丁寧に把握し、必要な改善点を関係機関と協議していく」と述べた。津波会長は「課題を共有できた。今後も意見交換を重ねていきたい」と述べ、連携強化への期待を示した。



逢坂次長(中央)と津波会長、仲本副会長

逢坂氏は旧建設省に入省後、中国地方整備局広島国道事務所長や近畿地方整備局大阪国道事務所長などを歴任。道路行政を中心に経験を積んできた。

# おきなわ建設フェスタに1万1000人来場

体験を通して建設産業への理解を発信



多くの来場者が建設業の魅力に触れた

第7回おきなわ建設フェスタが11月9日、沖縄市の県総合運動公園で開かれ約1万1,000人が来場した。屋内展示会場の体育館メインアリーナと車両等の体験乗車などが行われた北口駐車場には、開場前から多くの家族連れが詰めかけ、終日にぎわいを見せた。

開会式で津波達也実行委員長は「体験を通して建設産業に対する理解が深まり、将来の担い手育成につながる催しにしたい」とあいさつ。子どもたちは重機の試乗やドローン操縦、建築模型づくり、測量体験、木工教室など、多様な体験を通して建設業の魅力に触れた。

イベントの実行委員会は沖建協をはじめとする18団体で構成され、沖建協本部も独自ブースを設け、シミュレーターアプリを活用した重機操縦体験「重機でGO」や、ミニ重機ラジコン操作体験を出展。子どもたちは操作に挑戦し、重機の動きや仕組みを楽しく学んでいた。また、青年部会が実施したフォトコンテストの受賞作品もパネル展示し、建設現場の迫力や職人の姿を紹介。さらに、災害復旧支援や防疫活動に対応する沖建協の取り組み



テープカットを行う津波実行委員長ら



「重機でGO」を体験する男の子も掲示し、建設業の社会的役割と地域貢献を発信した。



## 2025年度建設雇用改善事業推進会議を開催

2025年度第1回建設雇用改善事業推進会議が10月20日、浦添市の建労センターで開かれた。沖縄労働局をはじめ、県、建設関係団体、県立高校など産官学の関係者が出席し、雇用環境や若年層の就職状況について意見を交わした。沖縄建協からは上原進副会長らが参加し、業界が直面する人材確保の課題などについて、取り組み状況を説明した。

上原副会長は「地域の守り手としての役割を果たすためにも、将来の担い手確保と育成は欠かせない。関係機関と連携して雇用改善に取り組んでいきたい」と述べた。

会議では、沖縄労働局の担当者が「建設業の人材確保は依然として深刻で、企業の人材開発と定着促進が重要」と指摘。県教育庁からは就職内定率が高水準で推移する一方、早期離職の高さが課題と報告があった。

また、県立高校校長会から、県外大手の求人



産官学関係者が意見を交わした

減少していることや、生徒の遅刻・欠席増加が就職活動に影響しているとの報告があった。今後の取り組みとして、インターンシップの目的性向上や職業理解の強化が必要との見解が示された。

このほか、沖縄建協が実施している高校生向け体験セミナー、技術系人材の採用支援、定着促進事業などの取り組みも紹介。地域別産学懇談会の報告も行われ、専門教育設備の更新などが急務である点が共有された。

## 工事統括責任者会議で防衛局と沖縄総局が現場での取り組みを説明

11月5日、宜野湾市のラグナガーデンホテルで第2回工事統括責任者会議を開催した。会員企業の工事統括責任者らが出席し、沖縄防衛局と沖縄総合事務局開発建設部が実施している技術提案における提出書類の簡素化や、現場負担軽減の改善に向けた取り組みについて理解を深めた。

新里英正副会長は「時間外労働の上限規制が適用され、書類の簡素化やDX、遠隔臨場の活用など、生産性向上に向けた取り組みを一層進める必要がある。発注機関には現場実態を踏まえた制度運用をお願いしたい」と述べた。

沖縄防衛局の坂口哲也調達計画課長は、技術提案書提出書類の枚数削減、監理技術者の従事期間に関する要件緩和、資格書類提出範囲の絞り込み、見積活用方式の試行、猛暑を考慮した工期設定など、現場負担の軽減に向けた取り組みを紹介した。

沖縄総合事務局の田場典昭技術検査官は、「土



説明を受ける工事統括責任者ら

木工事電子書類スリム化ガイド」の概要を説明。昨年4月から全工事に適用している書類電子化や役割分担の明確化、二重作成防止、遠隔臨場活用のポイントなどを紹介し、「発注者・受注者が共通認識で運用することが重要」と述べた。

質疑では、技術者要件の見直し、地域評価型の適用範囲拡大、発注見通しの早期提示などについて、参加者が要望。スリム化ガイドの徹底、追加工事の数量算出をめぐる課題についても活発な意見交換が行われた。

## 県総合防災訓練で道路啓開を実施

10月19日、南部圏域を対象とした沖縄県の総合防災訓練が行われ、沖建協から津波達也会長と本部・支部職員、那覇支部会員の14人、南部支部会員の4人が参加。日本自動車連盟沖縄支部や陸上自衛隊、消防、警察などと連携し道路啓開訓練を行い、独自訓練として発電機とスターリンクを用いた情報伝達訓練も実施した。

訓練は、那覇市民体育館をメイン会場に行われ、沖建協のメンバーは、敷地内で倒壊物や土砂で遮断された道路を啓開し、緊急車両の通行を確保する一連の手順を確認。現場ではスコップを使った手作業による土砂撤去と、ダンプ車への積み込み作業を同時に行い、狭い道路や斜面沿いの実災害を想定した環境での作業手順も確認した。このほか、体育館室内では、遺体収容と検視訓練、第2駐車場では防災関係機関の取り組みを紹介する展示ブースが設けられた。

今回の訓練は、沖縄本島南東沖を震源とするマグニチュード(M)9.0の巨大地震が発生し、本島で震度6強を観測、建物倒壊や土砂災害、津波など広域被害が生じたとの想定で行われた。県総合防



道路啓開手順などを確認した

災訓練は南部圏域14市町村や離島も含めて展開され、県、県警、消防、自衛隊など計97機関が参加。救出・救助、医療、通信、遺体収容、避難所運営など、多岐にわたる訓練が行われた。また、初めてトンネルを使った訓練も行われ、那覇市の識名トンネルでは多重衝突事故による火災を想定した救助活動を実施。大規模災害時の対応力向上に向けた検証が行われた。

沖建協は県と災害復旧に関する「包括的協定」を締結しており、平時から迅速な道路啓開体制の構築に取り組んでいる。今後も地域の防災力向上に寄与する体制づくりを進めていく。

## 公共工事設計労務単価調査説明会を開催

10月27日から30日にかけて、会員企業などを対象に公共工事設計労務単価調査に関する説明会を県内4か所で開催。調査内容に的確に応えられるよう、調査の仕組みや留意点を説明した。

27日に浦添市の建労センターで実施した説明会では、久高唯和事務局長が調査目的や位置付けを解説。続いて城間盛彦係長が「労務費調査の手引き」に基づき、実務の手順や記入上の注意点を説明した。賃金台帳からの正確な転記、就業規則の整備、週40時間以内の労働時間管理など、無効標本を減らすための具体策も示された。

調査対象は、10月に公共工事に従事した51職種の賃金を基本とし、9月のみ勤務した38職種についてはサンプル数確保のため9月分を用いる。今年度は、複数職種兼務の記入欄を従来の最大5



各支部の受講の様子 ①27日の中南部地区 ②28日の宮古地区  
③29日の八重山地区 ④30日の北部地区

職種から3職種に見直し、新たに従事日数の記入欄を設けた。対象期間も調査対象月に限定し、より正確な実態把握を目指して改善が図られている。

久高事務局長は「正確な職種分類と根拠資料の整備が重要となる。各社が連携して調査精度を高めてほしい」と呼びかけた。



## デュアルシステムで生徒らが橋梁補修工事学ぶ

美来工科高校土木工学科2年のデュアルシステムは、9月9日から第3班の現場実習がスタート。(株)屋部土建が生徒4人を受け入れ、10月14日には4カ所目となる「令和6年度北部国道管内橋梁補修工事」の現場で実習を行った。

現場では、現場代理人の上原鉄平氏と入社2年目の原田知佳氏が、工事の進捗や管理項目などを説明した。工事は、吊足場の組立や腐食部の調査、高力ボルトの取り替え、塗膜剥離・塗装、伸縮装置の補修などが主な作業内容。原田氏は、各工程の連携と品質・安全管理の重要性を強調し、「根拠を持って判断する姿勢が大切。現場では自分で考え、調べ、確かめることが欠かせない」と施工管理の基本姿勢を伝えた。

生徒らは説明を受けた後、施工箇所や吊足場の状況、作業員の動きを確認。同社が取り入れている有機溶剤の使用を抑えた「IH式塗膜剥離工



伸縮装置の説明を受ける生徒ら

法」や塗装の膜厚管理、ブラスト処理など補修品質を支える現場の工夫にも触れ、現場実務を学ぶ良い機会となった。

参加した福島瑠さんは「初めての現場で学びが多かった。進路を考えるうえで良い経験になった」と話した。

## 名護商工の生徒らが市内2カ所を現場見学

10月16日、名護商工高校建築科1・2年生43人を対象に現場見学会を開いた。会員企業の(有)昭建設と(有)くくるが生徒を受け入れ、名護市内で施工中の現場を案内した。

昭建設の「沖縄振興開発金融公庫北部支店工事」現場では、担当者が工事概要や設計方針などを説明。地域資材の活用やZEB対応の特徴なども紹介した。生徒らは組み立てられた鉄筋や測量機器を前に工程を学んだ後、鉄筋結束や測量作業にも挑戦。初めて触れる工具に戸惑いながらも、作業員の指導を受けながら真剣に取り組んだ。

入社5年目の岸本土門氏は「建設業は専門知識が多く大変な仕事だが、建物が完成したときの達成感は格別。ものづくりの喜びと社会貢献を感じることができ、とても魅力がある」と語った。

くくるが施工する「スポーツコンベンション交流拠点施設建築工事」現場では、市担当職員が施設の計画概要、現場代理人の親川雄一氏が進捗や



交流拠点施設の現場を見学する生徒ら

施工手順をそれぞれ説明した。生徒らは施工中のフロアを見てまわり、サッシの取り付け工程や仕上げ前の構造を確認。併せてフルハーネスの着用と鉄筋結束も体験し、安全対策が実際の作業に直結することを理解した。



## 浦添工業高校の建築科とインテリア科が現場見学

〜〜〜〜 2年生は金秀鉄工工場とメイクマン新築工事を見学 〜〜〜〜

10月24日、浦添工業高校の建築科・インテリア科の2年生72人を対象に現場見学会を開催。西原町内にある金秀鉄工(株)の工場と、(株)明成建設が施工する「メイクマンニューマン店増改築工事」の現場を案内した。

金秀鉄工の工場では、崎浜秀哉管理課長が同社の概要や施工実績、業務の流れを説明。沖縄セルラースタジアム那覇で使われた屋根の鉄骨や県立武道館アリーナ棟など県内を代表する建築物を例に挙げ、同社が一貫体制で製作している建築鉄骨、FRP製品、鋼管杭製品などを紹介した。

生徒らは、県内最大規模の鉄骨加工工場で、溶接作業や大型設備、製品などを間近で見学し、ものづくりの工程を学んだ。小禄道路の橋梁工事で使用される仮組み部材の加工や現場への輸送方法などについて説明を受け、ものづくりの迫力に感動する姿も見られた。



説明に耳を傾ける生徒ら

見学後、崎浜氏は「進路を考える大切な時期だと思う。学校生活や日々の取り組みを大切にしながら、将来沖縄と一緒に盛り上げていこう」と呼び掛けた。建築科の上運天愛来さんは「現場で働く方々の姿を見て、建設業が身近で重要な仕事だと感じた。実際の現場を見ることで、学ぶことの意義を改めて考えさせられた」と話した。

## 〜〜〜〜 1年生は市営住宅と宅地分譲住宅を見学 〜〜〜〜

11月4日は1年生72人が、那覇市の先嶋建設(株)・(株)高橋土建・(株)新建JVが施工する「宇栄原市営住宅第6期建替工事」と、読谷村の(株)大成ホームが宅地分譲を進めている「かりゆしタウン高志保」の現場を見学した。

宇栄原市営住宅では、先嶋建設現場代理人の垣花晃基氏が概要と安全管理などについて説明。ラジオ体操やKY(危険予知)活動、暑さ指数(WBGT)を活用した熱中症対策、顔認証による体調確認など、日々の安全衛生管理の内容を紹介した。鉄筋の施工では、基礎配筋の組立手順や精度管理を分かりやすく解説。また、(有)金功重機オペレーターがクレーン作業を披露し、生徒たちも運転席でレバー操作を行い、重機の挙動を体験した。

かりゆしタウン高志保では、大成ホームの金城正人氏が木造住宅の施工工程を説明。基礎・スラブから内装下地までの流れを解説。ZEH仕様のモデルルームで断熱・換気・太陽光発電設備を紹



かりゆしタウン高志保の施工状況を確認

介した。生徒からは住宅設備や仕上げ材に関する質問が集中。設計・インテリア分野への関心の高さがうかがえた。生徒らはこのほか、高所作業のリスクやフルハーネスの正しい装着方法などの安全対策についても学んだ。

見学後、インテリア科の富永実朝さんは「住宅づくりの流れや安全管理の大切さを知ることができ、貴重な経験になった」と笑顔を見せた。

## 高校生対象の2級建築施工管理技士試験講座を実施

11月9日に行われる2級建築施工管理技士一次後期試験に向けて、県内工業高校生を対象に試験対策講座を実施。講座には浦添工業高校建築科から17人、美里工業高校建築科から13人、南部工業高校建築設備科から1人が受講した。

早い学校では7月から講座を開講し、基礎講座や一次対策講座、模擬試験、集中ゼミなどに取り組んだ。

同様に対策講座を開いた前期試験では、沖縄工業高校29人、浦添工業高校10人、美里工業高校6人、名護商工高校1人が合格した。

講座は、日建学院と連携して実施しているもので、建設業の担い手確保と育成に向けた取り組み



過去問題演習に取り組む生徒(浦添工業)



美里工業高校の生徒らが受講として沖建協が受講料の一部を支援している。

### 支部活動報告

#### ■那覇支部イメージアップ委員会が石嶺児童園の児童・生徒を案内

那覇支部(黒島一洋支部長)は10月17日、県立石嶺児童園の児童・生徒ら27人を対象に、那覇空港構内にあるMRO Japanの整備工場で見学会を開いた。子どもたちの将来の進路選択に役立ててもらふことなどを目的にイメージアップ委員会が企画。出発式で糸数幸恵委員長は「社会のもののづくりを知る機会にしてほしい」と呼び掛けた。

子どもたちは大型機を間近で見ながら、航空機整備に関する工程説明を聞いたほか、救命胴衣の着用も体験。また、旅客ターミナルの見学者デッキ



離発着する航空機を見学したで離着陸する航空機も見学した。児童からは「整備の様子を初めて見た」「とても楽しかった」等と感想が寄せられた。

11月9日は、「第7回おきなわ建設フェスタ」に児童・生徒ら約15人を招待し、会場の展示ブースや体験コーナーを案内した。

子どもたちは、イメージアップ委員会のメンバーと各ブースをまわり、木工製作や重機シミュレーター、VR体験、ドローン操縦などに挑戦した。高所作業車の試乗では目を輝かせ、楽しむ姿が見られた。イベントに参加後、アンケートでは「興味が広がった」「ドローン操縦が印象に残った」などの声が寄せられた。

同行した同園の平田武氏は「楽しんでいる様子



シミュレーターで重機操縦を体験だった。この体験が得意分野を伸ばすきっかけになれば」と述べ、那覇支部の取り組みに感謝した。



## ■那覇支部が県防犯功労団体表彰を受賞

那覇支部(黒島一洋支部長)は、地域の犯罪防止に長年尽力したとして「2025年度沖縄県防犯功労団体表彰」を受賞した。10月17日には県警本部で表彰式が行われ、黒島支部長が出席し表彰状を受け取った。

那覇支部は、地域貢献活動の一環として2017年から年4回、防犯パトロールを継続。夏休みや春休みの夜間に学校周辺を巡回し、未成年の非行防止や防犯意識向上に取り組んできた。黒島支部長は「日頃の活動を評価していただいた証であり、今後も支部会員一同で防犯意識向上に努め、活動を続けていきたい」と述べた。

表彰は、警察組織と県防犯協会連合会によるもので、今回は6団体と33個人が受賞。式典では、



受賞した6団体と33個人ら小堀龍一郎警察本部長が受賞者の献身的な活動に謝意を示し、引き続き県民の安全・安心のために協力を求めた。県防犯協会連合会の宮城実会長も地域の防犯活動を担う存在として期待を寄せた。

## ■那覇支部会員20人が福岡県や長崎県で視察研修

那覇支部(黒島一洋支部長)は、10月23日から25日の3日間、福岡県や長崎県など九州地方をめぐる県外視察研修を実施。黒島支部長をはじめ支部会員企業から20人が参加した。

初日は九州で最も古い民家「横大路家住宅」(福岡県)を視察。茅葺・寄棟造の民家で「曲り屋」と呼ばれ、L字型に折れ曲がった特徴の歴史的建築物を確認した。

2日目はジャパネットHDが2024年10月に開業した長崎市内の長崎スタジアムシティを視察し、施設内容を確認した。長崎スタジアムシティはサッカースタジアムを中心にアリーナ、ホテル、商業施設、オフィスなどが入る複合施設。整備費に約1,000億円を投入している。開業から1年目で485万人が来場。2年目は650万人を目指し、イベント等の充実を図り、地域活性化に向けた取り組みが進められていると説明を受けた。また、長崎県建設業協会にも足を運び、根々眞悟会長と懇談。互いの地元業界について意見を交わした。

最終日には世界遺産の軍艦島を視察。軍艦島は長崎港の沖合に浮かぶ海底炭鉱の島で、1974年に閉山し現在は無人島。2015年に明治日本の産業革命遺産の一つとして世界遺産に登録され



長崎スタジアムシティを視察



軍艦島建物の説明を受ける参加者ら

た。最後は、カフェを併設した新しいスタイルで注目されている武雄市図書館・歴史資料館(佐賀県)に立ち寄り、研修を終えた。

参加者からは「軍艦島に上陸できたのは特に印象に残った」「業種外の人たちと話げできた」などの感想や「今度はフルZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)も見たい」などの要望があった。

## 支部活動報告

## ■南部支部が建設工事現場を合同パトロール

南部支部(徳元猛支部長)は10月31日、建災防沖縄県支部南部分会と合同で建設工事現場の安全パトロールを実施。徳元支部長をはじめ、建災防沖縄県支部の安慶名秀樹専務理事と安全指導者らが参加した。

出発式で徳元支部長は「県内でも足場からの転落事故などが身近で発生している」と指摘。「本日は、皆さんの経験豊富な視点で現場の安全対策を確認してほしい」と呼び掛けた。

安慶名専務理事は、県内建設業における労働災害の発生状況を紹介。建設業における労働災害の発生要因について「墜落・転落・飛来・落下のほか転倒が増えてきており、現場の高齢化対策や通路の確保など安全対策が重要」と強調した。



パトロールに参加した安全指導者ら

参加者らは、2班に分かれて「潮平小学校屋内運動場長寿命化(予防改修)工事」と「R7南部東道路改良工事(3工-1)」を巡回し、安全対策の状況を確認した。

## ■中部支部が建災防分会と管内11現場をパトロール

中部支部(石川裕憲支部長)は10月23日、建災防沖縄県支部中部分会と合同で建設現場の安全パトロールを実施。中部管内で行われている建設現場11カ所を巡回し、安全対策の状況を確認した。

パトロールには、会員企業の安全指導者ら8人が参加。沖縄市の中部建設会館で出発式を行い、安全対策の点検内容や注意事項を確認した。その後、2班に分かれ、うるま市の県消防指令センターや沖縄市の山内市営住宅、中城村の津覇小学校校舎などの工事現場で点検を行った。

安全指導者らは、各現場で足場や仮設通路、重機周辺、電気設備などを重点的に確認。さらに危険個所の有無、作業環境、労働者の安全意識なども点検し、改善点などの指導を行った。

パトロール終了後は中部建設会館に戻り、各現場の状況を報告。危険個所や指摘内容、改善点について情報を共有した。



出発式で点検内容を確認



安全指導者らが現場で注意を促す

工事名 2025.10.23 建災防パトロール  
工 種 安全管理 側点 沖縄市  
2025.10.23 (木)  
建災防パトロール  
山内団地2工区



## ■浦添・西原支部会員の女子職員がボウリング大会

浦添・西原支部(内間司支部長)は10月17日、浦添市のマチナトボウルで女子職員親睦ボウリング大会を開催した。支部会員企業から19社90人が参加し、交流を深めた。

内間支部長は「交流が深まり、明日からの業務への活力になれば嬉しい。こうした取り組みを通して、女性が活躍する建設業の魅力をより広く発信していきたい」と述べた。

今回はチーム戦はなく、個人戦のみで行われた。ストライクが出るたびに歓声が上がり、企業の枠を超えてハイタッチをするなど終始にぎやかな



参加した女子職員ら

雰囲気に包まれた。

結果は、1位が宮里優美氏(株)沖永開発)、2位が池原みとき氏(沖電開発(株))、3位が大城奈保子氏(株)東江建設)だった。

## ■石垣島まつりパレードでショベルカーダンスを披露

八重山支部(平良聡支部長)は11月2日、石垣市で開催された第61回石垣島まつりの市民パレードに参加。支部会員企業の協力によりショベルカーダンスを披露した。

重機オペレーターが音楽に合わせてショベルカーを動かす迫力ある演出に観客から歓声と拍手が湧き上がった。当日はあいにくの雨模様だったため、出発前に「安全第一で」と気を引き締めていた平良支部長は、無事パレードを終えたあと「建設業を身近に感じてもらう良い機会になった。今後も地域活動を続け、業界の魅力をさらに発信していきたい」とホッとした様子で笑顔を見せた。



音楽に合わせて踊るショベルカー

パレードでは50団体・約1,900人が市街地を練り歩き、沿道には多くの観客が集まった。

## ■八重山支部が赤十字血液センターの献血に協力

八重山支部(平良聡支部長)は11月2日、舟蔵公園で実施された県赤十字血液センターによる献血活動に参加した。社会貢献活動の一環として毎年6月と11月に継続して取り組んでいるもので、今回は会員企業から26人が必要血液の採取に協力した。

県赤十字血液センターの担当者は、医療技術の高度化等により血液需要が増えているとし、「安定的な供給体制を維持するためにも建設業界の継続した協力をお願いしたい」と呼び掛けた。

参加した(株)大米建設の桜井忠男氏は「久しぶり



献血に協力する参加者

の献血だった。今後もできる限り協力していきたい」と話した。

# PHOTO TOPICS

## 写真特集 令和7(2025)年を振り返る

業界では、物価や資材価格の高騰、人手不足、時間外労働規制への課題が多い上に、沖縄振興予算の横ばいが続いている。私たちは持続可能な経営と安定的な予算確保を求めるとともに、若者にとって魅力ある産業になるよう各種事業に取り組んだ。この一年を写真とともに振り返る。

### ■通常総会や懇親会など■



新春の集いで巳年のさらなる飛躍誓う(上)  
建設懇親会で業界発展を祈念して乾杯(右上)、懇親会に出席した沖総局開建部の皆さん(右下)



### ■講習会・研修会など■



実践型人材育成訓練終了で記念撮影(左上)、会員企業の新入社員研修(上)、一級土木施工管理試験対策講習会(左)



県外研修で浦添・西原支部が北陸へ(上:こまつの杜)、那覇支部が長崎県へ(下:軍艦島)

### ■叙勲と大臣表彰■



下地米蔵前会長が叙勲受章(左)、呉屋明副会長が国土交通大臣表彰受賞(右)

### ■大雨被害で応急対応■



北大東村の冠水被害で吸い込み口を設置して排水支援(左:沖総局HPより)



小型排水ポンプ設置作業を行った(右:沖総局HPより)



## ■雇用改善・若年者入職促進■



建設産業合同企業説明会(左)、おきなわ建設フェスタ(右)に多数参加



東海工業専門学校との連携で初の入学生(左下)、高校生の現場見学(上)、職業人講話で糸数幸恵部会長を派遣



## ■意見交換や要請活動など■



県選出国会議員との意見交換や沖総局への3社JV工事の最低出資比率引き上げを要請(上段)。県土建部との意見交換(下段左)、宮古支部が県農水部に要請(下段真ん中)、八重山支部が県土建部に要請(下段右)

## ■青年部会■

研修先で石川県建設業協会と意見交換



沖総局と現場の問題点など意見交わす



## ■女性部会■

3Dプリンティング技術を学んだ



リコチャレで女子学生がドローン操作体験



## 一生懸命取り組めばサポートしてくれる

最初は、慣れない環境で右も左もわからないことが沢山あると思いますが、先輩や協力会社の人たちとコミュニケーションをとり、アドバイスも頂きながら、一生懸命取り組めば、みんながサポートしてくれるので頑張ってください。

一つの工事が完了した時には、自身の成長と達成感が凄く感じられます。

### 担当した現場



「渡名喜漁港第2沖防波堤ケーソン補修及び消波ブロック据付工事」主に写真管理と安全管理をしました。未経験からの離島での現場だったので、とても思い出深い現場です。



具志川高等学校出身  
志慶眞 裕土さん(29歳)  
(協栄海事土木株式会社 工事管理部)

しげま ゆうと／うるま市出身／2014年  
3月具志川高等学校卒業／2023年4月  
協栄海事土木株式会社入社

**入職のきっかけ：**転職活動中、手に職をつけたいと考えていた時、知人から聞いた話がきっかけで入職しました。その人は施工管理の仕事をしていて、「自分の関わった建物などが形になり、街の風景として残り続けることがやりがい。達成感も感じる」と仕事の魅力を語っていました。

**将来の夢・目標：**将来の夢は「優良工事表彰の受賞」、目標は「土木施工管理技士1、2級の資格取得と現場代理人になること」です。

## 沖建協「見える化」イメージアップキャラクター 「あんぜんぼーや」を現場へつれてって!!

### 地域と共に、未来を築く



Okinawa General  
Constructors  
Association

あんぜんぼーや

OCA

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



一般社団法人 沖縄県建設業協会  
Okinawa General Constructors Association



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4 サイズ、A3 サイズ)

協会会員が施工する建設現場の出入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加で必要な場合は、所属支部窓口で配布します。





## CIIC経営状況分析

# Y点解説レポート 始めました！

当財団に経営状況分析をご申請いただいた皆様に、  
貴社の経営状況の評点（Y）を分析指標毎に解析し、増減や順位を  
チャートで分かりやすくまとめたレポート（Yレポート）を提供しております。  
Y点アップや経営目標の参考資料として、是非ご活用ください。

### Yレポートの入手方法

CIIC電子申請（マイページ）をご利用中の方は、**マイページから取得できます。**  
マイページIDをお持ちでない方は、当財団所定の申込書にてお申込みください。  
※代理人様が受け取る場合は、経営状況分析申請時に結果通知書の受領も委任されている必要があります。

### Yレポートのおすすめポイント 詳細はホームページをご覧ください。

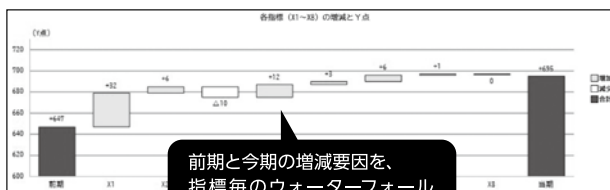
- Y点の増減要因が、X1～X8の指標毎によくわかる！
- 指標毎に、得点率や推移、Y(換算)点の増減がよくわかる！
- 指標毎に貴社の順位と都道府県の平均値との差がよくわかる！



当財団に経営状況分析を  
ご申請いただいた方は、  
無料でご利用になれます。

経営状況分析	得点(Y)	増減	順位	平均値	差
(X1)純支払利息比率	0.3	0.874	3.1	78.3%	-5.2
(X2)負債総額削減	0.9	4,500	18.0	78.9%	-38
(X3)経費率(売上総利益率)	63.6	24,390	108	31.3%	60.3%
(X4)売上高純利益率					
(X5)自己資本対固定資産比率					
(X6)自己資本比率					
(X7)営業キャッシュフロー					
(X8)利益剰余金					

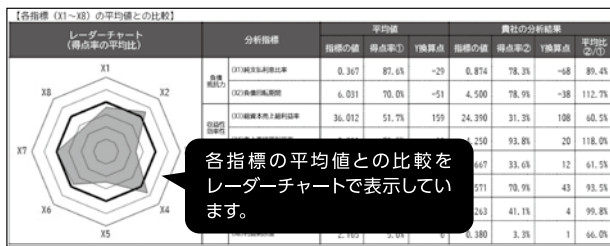
X1～X8の指標毎に得点率と  
最大過去5期分の推移を表示。  
指数のままでわかりづらい  
Y点に換算した点数も一目で  
わかります。



前期と今期の増減要因を、  
指標毎のウォーターフォール  
チャートで表示しています。

【貴社の順位と平均値との比較】	順位	平均値	差
(X1)純支払利息比率	3.1	78.3%	-5.2
(X2)負債総額削減	18.0	78.9%	-38
(X3)経費率(売上総利益率)	108	31.3%	60.3%
(X4)売上高純利益率			
(X5)自己資本対固定資産比率			
(X6)自己資本比率			
(X7)営業キャッシュフロー			
(X8)利益剰余金			

都道府県内のY点の分布と  
貴社の順位をヒストグラムで  
表示。2枚目には指標毎のヒス  
トグラムも掲載しています。



各指標の平均値との比較を  
レーダーチャートで表示して  
います。

これらのチャートの他、3期分の財務諸表（比較財務諸表）を掲載。増減要因を勘定科目レベルで分析できます。

さらに！マイページでは、**市区町村別、業種別、売上規模別**での比較や、**来期のシミュレーション**を行うことができます！  
マイページIDをお持ちでない方は、この機会に是非マイページのご利用をご検討ください。  
マイページIDの申込方法等、詳細はホームページの「CIIC電子申請（マイページ）のご案内」をご覧ください。

経営状況分析は“信頼と実績”の **登録経営状況分析機関 登録番号 1**

詳しい情報は <http://www.ciic.or.jp/>

または **CIIC Y点解説レポート** **検索**

# CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 九州事務所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目14番18号 福岡建設会館 6階

【お問い合わせ】 TEL 092-483-2841 FAX 092-483-2846

当財団は、情報セキュリティ  
マネジメントシステム（ISMS）  
に関するISO規格（27001）の  
認証を取得しています。



## 2025年11月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
4	火	・沖建協「工業高校生現場見学会(浦添工業・建築科、インテリア科)」(那覇市、読谷村) ・沖建協「正副会長会議」(沖建協委員会室) ・沖建協「役員会」(建労センター)	
5	水	・沖建協「工事統括責任者会議(沖縄防衛局、沖縄総合事務局)」 (ラグナガーデンホテル)	
6	木		・沖縄県経済団体会議「本会議」(那覇市) ・全建「労働問題連絡協議会」(東京都)
7	金		・沖縄県商工会議所連合会「春・秋の叙勲・褒章・県功労者賞等受賞者合同祝賀会 事務担当者打ち合わせ会」(那覇市)
9	日		・第7回おきなわ建設フェスタ(沖縄市)
10	月		・沖縄建設新聞「取締役会」(那覇市) ・九建協「専務理事・事務局長会議」(熊本県) ・九建協「西日本建設業保証との意見交換会」(熊本県)
11	火	・沖建協、沖縄県「沖縄県建設雇用改善優良事業所表彰式」(県庁)	
12	水	・沖建協「工事総合補償制度説明会(北部地区)」(北部建設会館)	・建設業振興基金「監理技術者講習」(浦添市) ・全建「秋の叙勲祝賀会」(東京都)
13	木	・沖建協青年部会「県外視察研修」～11/15(土)迄(石川県) ・沖建協「地域統括リーダー・防災リーダー研修(宮古地区)」 (宮古建設会館)	・中部家畜保健衛生所「中南部地域特定家畜伝染病防疫演習」 (南城市) ・九建協「技術担当職員研修会」(宮崎県)
14	金	・沖建協「地域統括リーダー・防災リーダー研修(八重山地区)」 (八重山建設会館)	
17	月	・沖建協青年部会「フォトコンテスト表彰式」(県庁) ・沖建協「工事総合補償制度説明会(本島地区)」(建労センター)	
18	火	・沖建協「地域統括リーダー・防災リーダー研修(本島地区)」 (建労センター)	・浦添市「津波避難ビル垂直避難訓練」(浦添市内) ・全建「全国会長会議」(東京都)
19	水	・沖建協・全建「労働安全を中心とした研修会」(建労センター)	・沖縄県「美ら島レスキュー有識者会同」(Web) ・“美ら島沖縄”風景づくり協議会「活動計画部会」(浦添市) ・九州建設青年会議「役員会・意見交換会・交流会」(福岡県)
20	木	・沖建協女性部会「AIに関する研修会及び建設業界で働く女性向け講演会」(建労センター) ・沖建協「総合企画委員会」(建労センター)	
21	金	・沖建協・建設マニフェスト販売センター「建設廃棄物の適正処理に係る講習会(八重山地区)」(八重山建設会館)	・全建「技術研究発表会」(東京都) ・沖縄の土木技術を世界に発信する会「顧問・運営会議」(那覇市) ・沖縄の土木技術を世界に発信する会「シンポジウム」(那覇市)
25	火		・沖縄建設新聞「定期株主総会」(那覇市) ・全国土木技士会「JCMセミナー」(那覇市) ・運天港・本部港 港湾BCP協議会「港湾BCP訓練(図上訓練)」(名護市)
26	水	・沖建協「工業高校生現場見学会(美里工業・建築科)」 (宜野湾市、沖縄市)	・浦添市「津波避難ビル垂直避難訓練検討会(振り返り)」(浦添市) ・沖縄県防衛協会「自衛隊協力団体との意見交換会及び理事会」 (那覇市) ・金武湾港・中城湾港 港湾BCP協議会「港湾BCP訓練(図上訓練)」 (沖縄市)
27	木		・西日本建設業保証「参与会」(大阪府)
28	金		・沖縄県緑化推進委員会「緑の募金運営協議会」(南風原町)

## 2025年12月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
2	火	・沖建協青年部会「献血キャンペーン(那覇・南部)」(天久りうぼう) ・建産連「役員会」(建労センター)	
3	水	・沖建協青年部会「献血キャンペーン(中部)」(イオン具志川)	・全国建産連「専門工事業全国会議」(東京都) ・全国技士会「国交省との意見交換会」(東京都) ・沖縄県職業能力開発協会「若年技能者人材育成支援等事業に係る連携会議」(那覇市)



## 2025年12月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
4	木		・九建協「建退共事務担当者会議」(那覇市) ・建設業振興基金「連携団体職員合同研修会」～12/5(金)迄 (東京都、埼玉県)
5	金		・全国建設青年会議「全国大会」(東京都) ・沖縄地域留学生交流推進協議会「総会」(西原町)
8	月		・沖縄県職業能力開発協会「後期技能検定辞令交付式・水準調整会議」(那覇市) ・沖縄県商工会議所連合会「春・秋の叙勲・褒章・県功労者賞・沖縄タイムス賞・琉球新報賞 受賞者合同祝賀会」(那覇市)
9	火		・九経連「沖縄連携フォーラム」(那覇市)
10	水	・沖建協「正副会長会議」(ハーバービューホテル) ・沖建協「役員会」(ハーバービューホテル) ・沖建協「叙勲受章祝賀会」(ハーバービューホテル)	
11	木	・沖建協、沖縄県、沖総局共催「建設業法令遵守講習会」(Web)	
12	金	・沖建協、建設マニフェスト販売センター「建設廃棄物の適正処理に係る講習会(本島地区)」(建労センター)	・沖縄県生コンクリート品質管理監査会議(那覇市)
16	火	・沖建協「建退共CCUS電子申請連携操作説明会(那覇～中部地区)」(建労センター)	
17	水	・沖建協「建退共CCUS電子申請連携操作説明会(北部地区)」 (北部雇用能力開発総合センター)	・沖縄県「沖縄県職業能力開発審議会」(うるま市)
18	木	・沖建協「建退共CCUS電子申請連携操作説明会、建退共個別相談会(宮古地区)」(宮古建設会館)	・シェルフィー「みんなでつくる建設の未来in沖縄」(那覇市) ・全国土木技士会「事務局長実務担当者会議」(東京都)
19	金	・沖建協「建退共CCUS電子申請連携操作説明会、建退共個別相談会(八重山地区)」(アートホテル石垣島)	・沖縄県交通安全推進協議会「年末年始の交通安全県民運動開始式」(那覇市)
23	火		・沖縄県環境整備センター「定例取締役会」(那覇市)
24	水		・沖縄県契約審議会(那覇市)
25	木	・沖建協青年部会「沖縄県土木建築部との意見交換会」(那覇市)	

## [12月号会員の異動]

## 代表者・所在地・組織 等

ページ	支部名	会社名	変更事項	変更前	変更後
P19	那覇	(株)比嘉組	所在地	那覇市樋川1-2-38	那覇市樋川1-3-44
P28	浦添・西原	(株)明成建設	代表者	知念 章	渡久地 政行
P37	北部	國幸興發(株)	代表者	國場 幸博	國場 幸展
P38	北部	(有)大都建設	所在地	本部町字大浜863-4	本部町字伊野波207-6

沖建協会報 2025年12月号(第667号)  
令和7年12月1日発行  
発行人 源河 忠雄

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会  
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8  
TEL.098 (876) -5211  
FAX.098 (870) -4565  
編集 株式会社沖縄建設新聞

## 沖縄県内の公共工事動向（令和7年10月分）

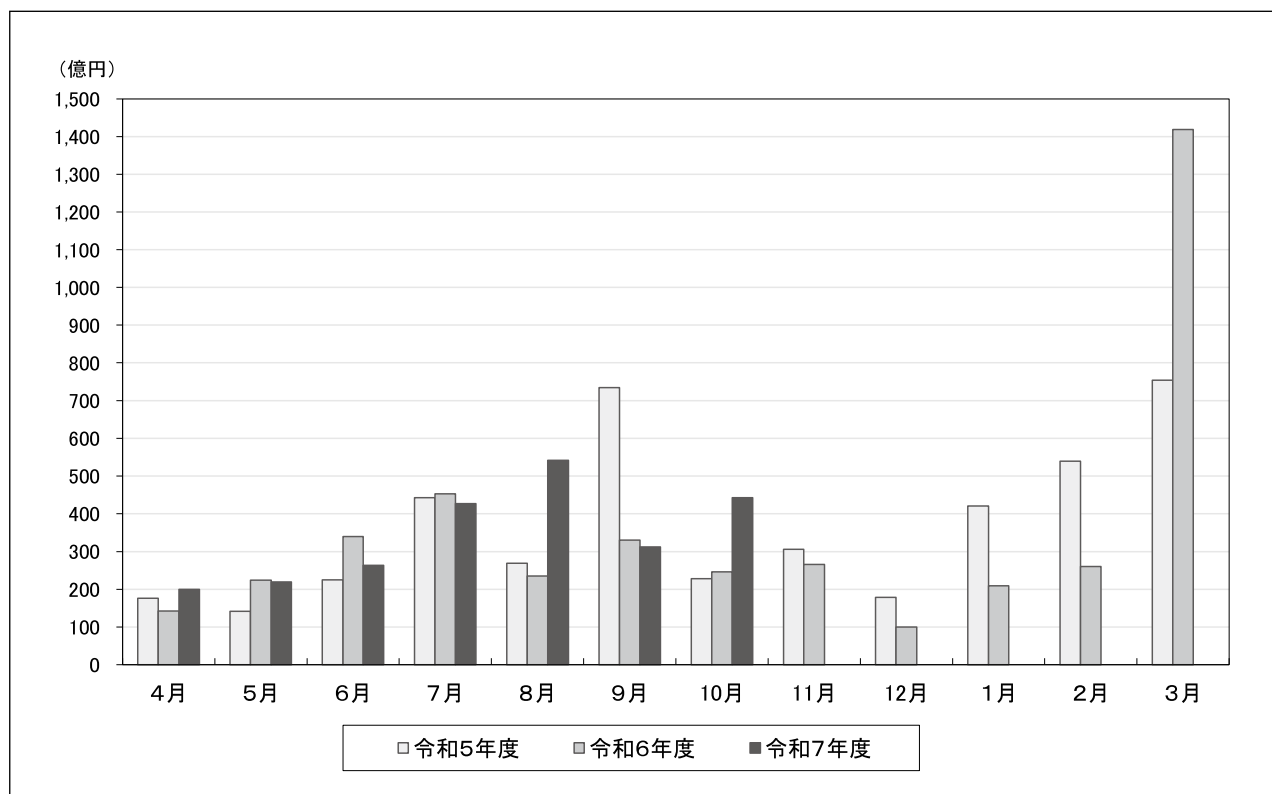
西日本建設業保証（株）沖縄支店

### ▼ 概況

（単位：件、百万円、％）

	当 月		増減率		累 計		増減率	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	39	24,659	34.5%	114.5%	260	106,170	20.4%	99.0%
独立行政法人等	0	0	—	—	15	2,280	▲50.0%	▲83.1%
県	67	6,073	▲30.2%	15.7%	538	51,594	▲7.9%	11.0%
市町村	168	12,492	15.1%	78.5%	966	69,658	2.2%	0.9%
その他	8	1,100	▲38.5%	59.2%	90	11,320	7.1%	▲24.1%
合 計	282	44,324	▲1.4%	80.0%	1,869	241,023	0.5%	22.2%
令和6年度	286	24,622	▲11.5%	7.7%	1,859	197,252	▲2.0%	▲11.1%
令和5年度	323	22,852	4.5%	▲23.0%	1,896	221,975	0.3%	7.8%
令和4年度	309	29,678	▲8.8%	11.1%	1,890	205,819	▲9.5%	▲13.7%
令和3年度	339	26,721	▲3.7%	▲0.6%	2,089	238,555	▲2.4%	15.3%

### ▼ 月別請負金額の推移





2025年10月  
リニューアル!

NEW!

電子申請で業務を  
もっとスムーズに!

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

K E N T A I K Y O

電子化で、煩雑な申請や書類管理の  
手間を大幅に軽減できます。

オンラインで  
業務効率化!

工事関係書類の  
電子化にも対応!

発注機関等への  
提出作業が軽減!

詳しい情報はこちら ▶

建退共



<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>



建退共  
建設業退職金共済制度

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部  
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6731-2866

# 確かな安心へ全力応援。



割戻金の支払いが  
始まっています。

令和6年度分 28.52%、令和7年8年も支払いは確定しています。

- 労働者と企業のリスクを同時にカバー  
被災者補償(労働者福祉)と諸費用補償(企業防衛)
- 手厚い補償 保険金区分合計最高5,000万円
- 契約者割戻金制度により掛金負担が軽減

社員と家族、会社を守るために。

## 建設共済保険

法定外労災補償制度 制度創設55周年

今すぐ、  
ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

### 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

### 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

### 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門平塔タワー11階

■取扱機関: (一社) 沖縄県建設業協会

〒901-2131 浦添市牧港5-6-8

Tel. 098-876-5211 Fax. 098-870-4565

さらに新しくなった!  
建設共済保険制度の10のポイント



詳しくは HP をご覧ください!

建設共済保険

検索



# 第17回フォトコンテスト～島の魅力～表彰式

小出さんと服部さんが最優秀賞

青年部会(古波蔵太志部会長)は11月17日、「第17回フォトコンテスト～島の魅力～」の表彰式を県庁で開いた。今回の応募総数は280点。最優秀賞は、人の部から小出由美さんの『仲間』、造の部から高校2年生の服部葉奈さんの『未来へ』が選ばれた。

今年から高校生を対象とした現場撮影会が実施され、若年層の参加と応募数の底上げにつながった。古波蔵部会長は

「若い世代の建設業離れが課題となる中、作品を通して業界への理解と関心が深まることを期待している」と話した。

服部さんは「夕空に伸びる飛行機雲に首里城の姿が重なり、未来に向かう思いを込めて撮影した。建設業が暮らしと未来を支える仕事だと写真で伝えることができれば嬉しい」と笑顔で語った。



受賞者と審査員の皆さん

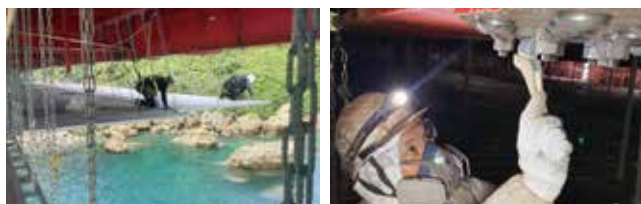
## 入選作品介绍

### 人の部

【最優秀賞】「仲間」 小出 由美



【優秀賞】



「ゆっくり 慌てず 丁寧に」  
仲尾次 柚希

「一筋の光に集中して」  
宮里 恒太郎

【学生賞】「屋根の上の使命」富原 涼

【みんなの公共土木賞】「灼熱の作業」森山 純斗

【現場で働く美ら小町賞】

「人と建物をつなぐ笑顔のOKサイン」具志川 伊智子

【沖縄建設新聞社長賞】「真剣」小出 由美

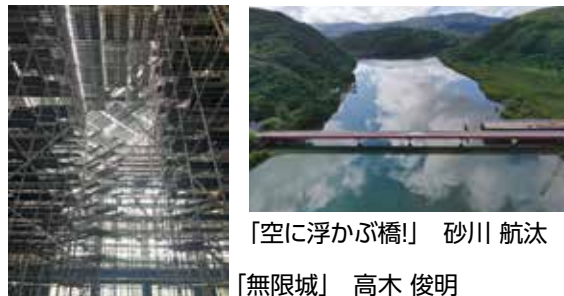
【入選】「学びの連鎖」田里 奨平、「熱き視線、未来の技術者へ」松堂 慎、「熱中症者発生訓練」上原 仁、「雷からの防衛」具志堅 長、「一筆にのせる想い」新里 じゅんの、「職人の誇り」佐藤 花恋、「今日も、みちをつくる。」増淵 裕之、「未来を目指す橋の下秘密基地」具志川 伊智子、「問題ないかな」中村 航大、「安心安全を届けるために」幸地 今梨

### 造の部

【最優秀賞】「未来へ」 服部 葉奈



【優秀賞】



「空に浮かぶ橋」 砂川 航汰

「無限城」 高木 俊明

【学生賞】「夏の夕方時のとよみ大橋」山岸 莓

【みんなの公共建築賞】「カイトザウルス現る!!」宮里 真作、「黄昏時」安和 幸枝

【みんなの公共土木賞】「星空への滑走路」大城 修

【沖縄建設新聞社長賞】「雨上がり ～after the rain～」ティモサ ジェームス パトリック

【入選】「来間大橋の補修」皆川 こごみ、「瀬底大橋とフェリー」池原 行豊、「架かる」下地 都奈紀、「那覇空港自動車道延伸工事の夜間風景」宮城 隼人、「曲線の集束」仲程 薫、「陸の好物」嵩西 涼、「大型クレーン船参上」仲程 梨枝子、「Line View」東門 晶子、「空にいちばん近い仕事場」吉野 咲枝、「引っ張るでー!」安里 和晃





無事故の歳末  
明るい正月

本田紗来

2025 2026  
12/1・1/15

建設業年末年始

労働災害防止強調期間

建設業労働災害防止協会

 建設業労働災害防止協会